

久喜市あゆみの郷 事業報告

平成31年度（令和元年度）事業計画に基づいて以下の事業を行いました。

1 実施事業

(1) 定員と現員

令和2年3月31日現在

事業名	定員	現員
生活介護	定員15名	16名（男性12名、女性4名）
就労継続支援B型	定員15名	18名（男性10名、女性8名）

(2) 利用者の状況

ア 年齢構成

	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	平均
生活介護	0	7	3	3	1	2	38.1歳
就労継続	1	7	4	3	3	0	34.2歳
計	1	14	7	6	4	2	36.1歳

イ 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	計
生活介護	0	0	5	2	6	3	0	16人
就労継続	0	1	7	4	1	0	5	18人
計	0	1	12	5	9	2	5	34人

ウ 療育手帳の所持状況

	㊤	A	B	C	なし	計
生活介護	8	4	3	0	1	16人
就労継続	1	7	6	2	2	18人
計	9	11	9	2	3	34人

エ 利用率の状況

(ア) 生活介護

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	22	20	23	21	20	22	22	20	20	19	21	250日
延利用者数	308	321	282	329	261	263	308	304	265	260	239	270	3410人
利用率	98	97	94	95	89	88	93	92	88	87	84	86	90.9%

(イ) 就労継続支援B型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	22	20	23	21	20	22	22	20	20	19	21	250日
延利用者数	315	314	302	347	302	326	339	334	315	313	290	339	3836人
利用率	100	95	101	101	90	108	103	101	105	104	101	104	101.2%

就労継続支援B型事業の利用率は好調で101%となりました。生活介護は、一部の利用者が体調面で利用できないことや県外のグループホームに入居することがあり、利用率は91%にとどまりました。関係機関と連携をして新規利用者の調整をします。

(3) 職員体制

職 種	配置人数	備 考
施設長	1	サービス管理責任者兼務
主任職業指導員	1	就労継続支援B型（運転業務兼務）
生活支援員	9	生活介護：7名（2名 運転業務兼務） 就労継続支援B型：2名
目標工賃達成指導員	1	就労継続支援B型
看護師	1	生活介護
事務員	1	
計	14	

2 重点実施事項

(1) 一人ひとりの能力や適性に応じた支援

アセスメントに基づいて、一人ひとりの適性に合わせた支援を行いました。また、本人の希望を聞き取り可能な限り実現に向けた支援を行えるよう特に就労支援B型の利用者には、実習の機会を広げることができました。

(2) 工賃向上のための支援

新たな作業実習先として、コインパーキングの清掃作業を受託することができました。主に除草、ごみを収集する作業を行いました。作業量も適切で工賃向上につながりました。

3 事業報告

(1) 利用者支援（生活介護・就労継続支援B型 共通事項）

ア 日常生活支援

利用者それぞれのニーズや状況によって、きめ細かな支援に取り組みました。問題が発生した際もすぐに対応策を検討して、必要に応じて家族に連絡を取りました。その結果、利用者アンケートでも支援に満足しているという意見を多く聞くことが出来ました。

イ 社会生活支援

(ア)4つの部がどれも充実して活動しています。「ちくちくクラブ」の手芸創作活動には、普段、コミュニケーションが苦手な利用者も参加をして、表情豊かに活動しています。また、自主製品の開発も行っています。利用者からは、次回は楽しみとの感想があります。

(イ)利用者自治会活動を行い、自分達で「考え」「話し合い」「決めて」「実行する」取り組みを行いました。各イベントの企画を職員と一緒に考えてきました。また、埼玉県発達障害福祉協会が行う利用者部会にも利用者を派遣して活躍の場が広がりました。

ウ 健康管理に関する支援

(ア)健康診断（1回）と保菌検査（2回）を行いました。いずれも特変はありませんでした。今年度も健康診断は嘱託医の所属する医療機関で実施しました。

(イ)家族の承諾を得たうえで職員の同行を必要とする利用者には通院同行を行い

ました。日中の様子を正確に情報交換することによって受診の効果が多く出ています。

エ 権利擁護に関する支援

(ア)虐待防止の徹底をしました。利用者の対応方法をすべての職員が共有できる環境づくりを行いました。個別の対応が必要な場合は、次の日には持ち越さないでその日のうちに方針を出していくことにしました。

(イ)事業所内で権利擁護や虐待防止に関わる研修を行いました。

(2) サービスの提供

ア 生活介護

(ア)日常生活支援

上手に食事ができず食べこぼしが目立つ利用者には、個人に合った食器で提供しました。嚥下に課題のある利用者には、食材をすりつぶすなどの対応をしています。

加齢等による身体機能の低下の対策、成人病予防の対策として作業の合間に身体を動かす機会を取り入れ防止に努めました。

(イ)作業活動支援

集団での活動を中心としたグループ、療育的でより個別性の支援が必要なグループなど 3 班編成で活動を提供しました。それぞれの特性に合わせた活動班にする事で、日々の活動の充実や、行動障害の軽減に繋がっています。農耕作業による収穫した野菜を施設前に設置した無人販売所で販売しました。また、週 1 回木曜日に鷺宮総合支所内で野菜の販売も行いました。特に鷺宮総合支所内での野菜販売は好調で、開店前から待っているお客さんがいます。

(ウ)社会活動支援

軽運動（レクリエーション）や買い物外出等を定期的に実施しました。また、誕生日による外食は各月の誕生者で食べたいお店を選んで行きました。少人数で行くことが出来るので、ゆっくりランチが楽しめるとのことで好評でした。

イ 就労継続支援B型

(ア)社会生活支援

課題が多かったり、複数の機関が関わったりする人に対して、ストレングス視点による個別支援会議を行い。本人の可能性の共有や統一した支援が行えるように努めました。

施設外就労で「きっちんこすもす（喫茶店）」のホールで実習をしています。ホールでの作業に適した整容のアドバイスを通じて、日々の身だしなみなどの改善が見られた利用者が数名います。また、声を出すことが苦手な人がメニューを取ることを続けていくことで自信につながり、あゆみの郷まつりの司会をすることが出来るようになりました。

(イ)一般就労への支援

就職希望の利用者に対して、職業定性評価を障がい者就業総合相談室リレーションシップセンター久喜の協力のもと行いました。現在のスキルとこれからの支援の方向性を利用者と共に共有することができました。

(ウ) 作業活動支援

工賃収入が上がりました。平均工賃額 15,003 円で昨年度と比べると 1,072 円の増でした。新たな作業先を開拓しました。活動時間内で終了できるので職員が残業等を行うことが無い作業です。2020 年度は、金額を落とさないことを目指します。

(3) 働きやすい職場づくり

- ア 働きやすさのアンケート各職員に実施しました。この中で、業務の情報共有を行うことで一層の改善になることが分かり情報共有のためのホワイトボードを設置しました。後のアンケートでおおむね共有が図れたとの評価がありました。
- イ 職務点検等を通じ各職員と面接を行って現状の把握と改善を行いました。
- ウ 年次有給休暇を5日以上取得できるように促進しました。結果、平均7.6日の取得が出来ました。

(4) 人材育成

内部研修を重点に支援の質の向上を目指して努力しました。日々の支援の在り方の見直しや意識の向上、専門性を高めるための支援スキルの獲得に努力しました。外部研修については下記の通りです。

研修名	主催者	日付	参加者
サービス管理責任者指導者研修	厚労省・国立リハビリテーションセンター	令和元年7月12日 ～14日	桜井
強度行動障害基礎研修	埼玉県社会福祉協議会	令和元年7月26日, 8月1日	佐藤
就労アセスメントセミナー	埼玉県・就業支援課	令和元年9月12日, 13日	進藤
久喜市自立協 是たらく部会 (就労アセスメント)	久喜市自立協 是たらく部会	令和元年11月21日	秋山
施設長、幹部職員研修	埼玉県発達障害福祉協会	令和2年1月29日	桜井
サービス管理責任者連絡会研修 (防災研修)	自立支援協議会 サービス管理責任者連絡会	令和2年2月11日	江森

(5) リスク管理

- ア 避難訓練を3回実施しました。想定は火災だけではなく、地震や竜巻などの災害も想定して実施しています。
- イ 洪水被害の勉強会を行いました。昨年台風19号時の利根川状況の動画を見たほか、避難場所の確認をしました。また、久喜警察署協力のもと行っている交通安全研修は、新型コロナウイルス感染予防のため今年度は中止になりました。

(6) 地域交流

- ア 地域行事に参加し地域の方との交流の場としました。

行事名	開催日
鷺宮コミュニティまつり	令和元年 5月12日

男と女（ひととひと）のつどい	令和元年 6月12日
ホットハートフェスティバル	令和元年 6月14～16日
久喜特別支援学校PTAまつり	令和元年 7月20日
鷺宮コスモスフェスタ	令和元年10月27日
鷺宮人權のつどい	令和元年12月14日
ホットハートフェスティバル	令和2年 1月17～19日

イ 第7回あゆみの郷まつりを開催しました。終日、悪天候でしたが、350名を超える来場者がありました。（平成30年度410名）公民館に所属するサークル（合唱、吹奏楽）や地域のダンスサークル、久喜北陽高校チア部による「クッキーダンス」などのアトラクションを行いました。特に施設周辺の地域にお住いの方の来場者が多く見受けられました。

ウ 「あゆみだより」を年3回発行しました。公共施設を中心に設置してもらい施設のPRに努めました。

エ 実習生、ボランティアの受入れ

(ア)施設現場実習の受入れ

大学生1名を延べ20日間、短期大学生1名を延べ10日間の実習受入れをしました。

(イ)進路体験実習の受入れ

特別支援学校生徒1名を延べ10日間の実習受入れをしました。

(ウ)ボランティアの協力

延べ人数、628名の協力がありました。地元の方が中心で毎日の活動（作業等）支援、植栽や畑の管理等の応援がありました。職員の業務軽減にもつながり、利用者は、ボランティアさんとの関りを楽しんでいます。

(7) 事業運営

ア 自主事業

(ア)送迎サービスを行っています。家族の都合等で休みがちだった人も安定して通えるようになりました。家族の高齢化などで家族での送迎が困難になっています。今年度は、16名が送迎サービスを利用しています。

(イ)日中一時の受け入れを行いました。主に2名を受入、引きこもりがちな人と行動障害が激しく他の施設で対応できなく在宅生活になっていた知的障害者の受け入れを行いました。体型も大きくパニックになると噛みつく、蹴る、叩くなどの他害行為になる事はあったが、行動を分析して対応することを繰り返し行っていく事で、パニックの回数は減少しています。利用にあたっては、相談支援センター、行政と個別会議を繰り返し行いました。